

2019年04月12日

東芝のLNG事業譲渡が不透明に——財務リスクへの影響を注視

東芝（証券コード：6502、発行体格付＝BBB-）は11日、米国産液化天然ガス（LNG）に係る事業の譲渡契約を結んだ中国 ENN から、株式譲渡契約に基づく取引を中止する旨の連絡を受けたと発表した。現時点で契約の正式な解除には至っていないが、LNG 事業の譲渡を通し、東芝が保有する LNG 事業に係るすべての契約を移管または解除するという計画の実現可能性は低下している。

東芝は LNG の販売の有無に関わらず、液化役務提供会社やパイプライン会社に対して 20 年にわたる固定額のサービス対価支払い義務を負っている。オフバランスの契約債務の総額は約 1 兆円とみられる。LNG 事業の譲渡に伴い見込んでいた損失や支払いが発生しないとしても、財務基盤の将来的な毀損リスクが残る。今後の LNG 事業の取り扱いと、財務リスクへの影響を注視していく。

主任格付アナリスト：村瀬 暢

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。